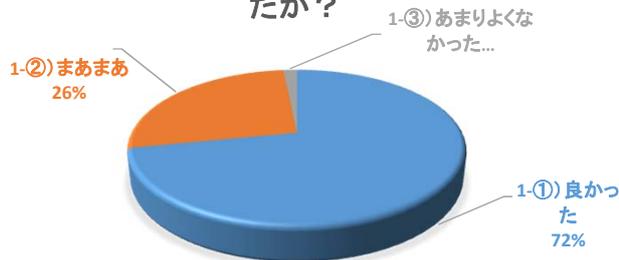


2018年年会(東北大学)
ランチョンセミナー「セラミックスカフェ」 アンケート集計

1. セラミックスカフェはお役にたちましたか？

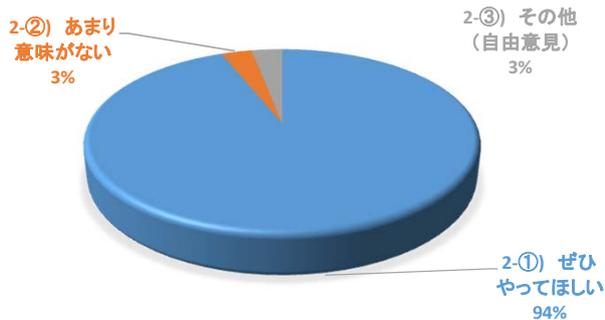


1. セラミックスカフェはお役にたちましたか？	1-① 良かった	1-② まあまあ	1-③ あまりよくなかった	回答合計
	46	17	1	64
	72%	27%	2%	

○自由意見

整理はできた
新しい話し、アイデアやオリジナリティーを発見できず残念
非常に良かった。役に立たせることができそうです。
自分はまだ学生で、社会に出て働くのはまだ先だが、これから社会に出るための出た後の貴重なアドバイスを聞くことができ参考になりました。普段研究する環境ではあまり気にしないような話なので貴重でした。
漠然と考えていることを整理された形で聴くことができた。
講演はわかりやすかった。ただ概要に終了したので、深く考えるには不十分。研究者に特化した独特のワークライフバランスの事例を伺いたい。
ワークライフバランスに対する考え方がよく分かった。時節にあった大変良い企画であった。
毎回工夫があってよいと思う。
新味に欠けた
講演が分かり易くてランチョンに適していた。
初めは興味のある人ならぎいたことのある話だったが、後半の事例や先生の考え含めた話がおもしろかったです。

2. 次回も開催した方が良いですか？

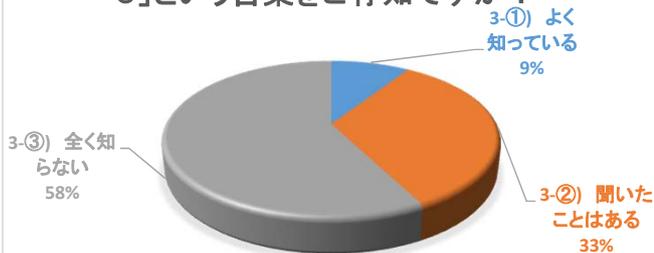


2. 次回も開催した方が良いですか？	2-① ぜひやってほしい	2-② あまり意味がない	2-③ その他(自由意見)	回答合計
	62	2	2	66
	94%	3%	3%	

○自由意見

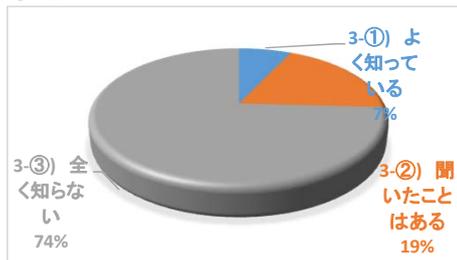
フリーディスカッションを多くすれば良いのではないかと思います
「セラミックスカフェ」はぜひ、次回も開催していただきたい。
無理がないレベルでやって頂ければと思います
テーマによる
継続が大事であると思う。
参加者でのディスカッションの時間があつた方がよい。パネルディスカッション形式も考えたいかがでしょうか

3. 男女共同参画に関する「202030」という言葉をご存知ですか？



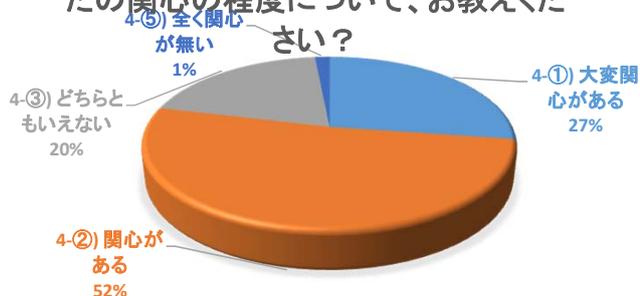
2017年年会セラミックスカフェアンケート

- ① よく知っている 7%(4人)
- ② 聞いたことはある 19%(11人)
- ③ 全く知らない 74%(43人) 合計58人



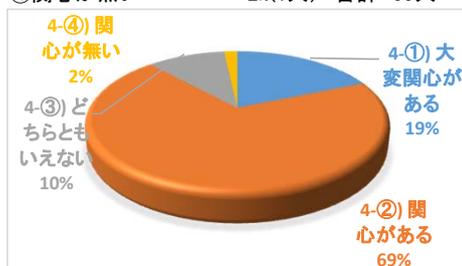
3. 男女共同参画に関する「202030」という言葉をご存知ですか？	3-① よく知っている	3-② 聞いたことはある	3-③ 全く知らない	回答合計
	6	22	38	66
	9%	33%	58%	

4. 男女共同参画活動についてのあなたの関心の程度について、教えてください



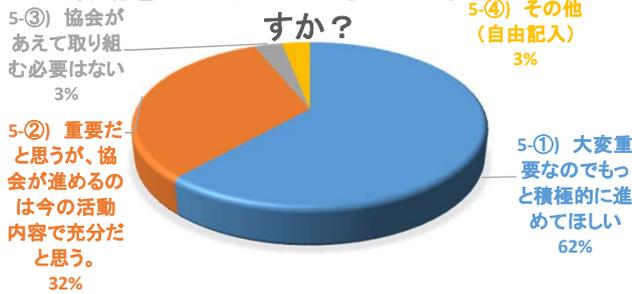
2017年年会セラミックスカフェアンケート

- ① 大変関心がある 19%(11人)
- ② 関心がある 69%(41人)
- ③ どちらともいえない 10%(6人)
- ④ 関心が無い 2%(1人) 合計 59人



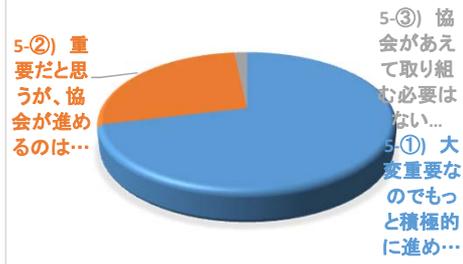
4. 男女共同参画活動についてのあなたの関心の程度について、教えてください	4-① 大変関心がある	4-② 関心がある	4-③ どちらともいえない	4-④ 関心が無い	4-⑤ 全く関心が無い	回答合計
	18	34	13		1	66
	27%	52%	20%	0%	2%	

5. あなたは、協会が男女共同参画の活動を進めることに対してどう思いますか？



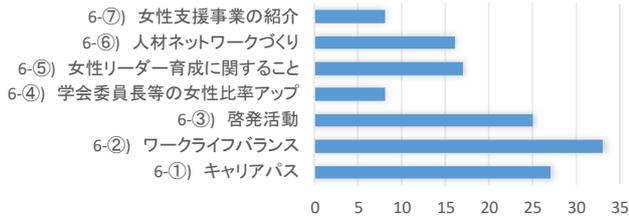
2017年年会セラミックスカフェアンケート

- ①) もっと積極的に進めてほしい 71%(42人)
- ②) 今の活動内容で充分だと思う 27%(16人)
- ③) あえて取り組む必要はない 2%(1人) 合計59人



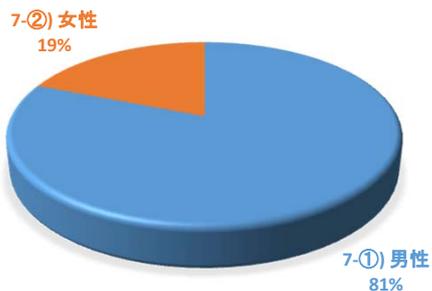
5. あなたは、協会が男女共同参画の活動を進めることに対してどう思いますか？	5-①) 大変重要なので	5-②) 重要だと思う	5-③) 協会があえて取	5-④) その他(自由記	回答合計
	40	21	2	2	65
	62%	32%	3%	3%	

6. 協会が男女共同参画推進として取り組んでほしいことをお答えください。(複数回答可)



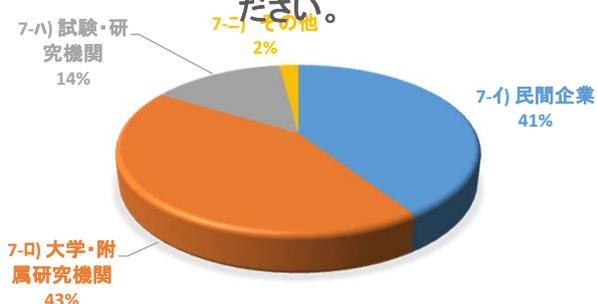
6. 協会が男女共同参画推進として取り組んでほしいことをお答えください。(複数回答可)	6-①) キャリアパス	6-②) ワークライフバ	6-③) 啓発活動	6-④) 学会委員長等	6-⑤) 女性リーダー育	6-⑥) 人材ネットワー	6-⑦) 女性支援事業	6-⑧) その他(自由記	回答合計
	27	33	25	8	17	16	8	1	135
	20%	24%	19%	6%	13%	12%	6%	1%	
○自由意見	真の男女平等とはどんな体系か？								

7-1. あなたの性別を教えてください。



7-1. あなたの性別を教えてください。	7-①) 男性	7-②) 女性	回答合計
	47	11	58
	81%	19%	

7-2. あなたのご所属の種類を教えてください。



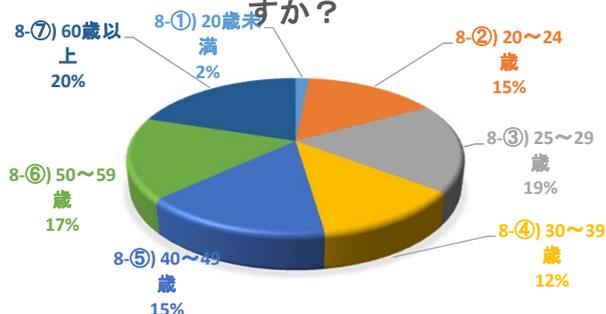
7-2. あなたのご所属の種類を教えてください。	7-①) 民間企業	7-②) 大学・附属研究機関	7-③) 試験・研究機関	7-④) その他	回答合計
	20	21	7	1	49
	41%	43%	14%	2%	

7-3. あなたの日本セラミックス協会の会員種別を教えてください。



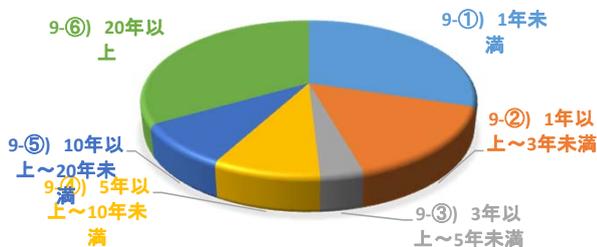
7-3. あなたの日本セラミックス協会の会員種別を教えてください。	7-a) 個人会員	7-b) 学生会員	7-c) 特別会員に所属	7-d) 会員ではない	回答合計
	24	13	3	5	45
	53%	29%	7%	11%	

8. あなたの年齢層はどれに該当しますか？



8. あなたの年齢層はどれに該当しますか？	8-①) 20歳未満	8-②) 20～24歳	8-③) 25～29歳	8-④) 30～39歳	8-⑤) 40～49歳	8-⑥) 50～59歳	8-⑦) 60歳以上	回答合計
	1	10	12	8	10	11	13	65
	2%	15%	18%	12%	15%	17%	20%	

9. 協会の会員になってどのくらいですか？



9. 協会の会員になってどのくらいですか？	9-①) 1年未満	9-②) 1年以上～3年未満	9-③) 3年以上～5年未満	9-④) 5年以上～10年未満	9-⑤) 10年以上～20年未満	9-⑥) 20年以上	回答合計
	17	9	2	5	5	19	57
	30%	16%	4%	9%	9%	33%	

10. その他、協会への要望などについて、ご自由に記入してください。

人事系のコンサルティングを専門とする方の話しには、中身を感じられない。今回程度の話であればWeb情報で十分であると感じた。

本質的には、労働意欲をもたせるような将来像が見えない。分からないことが問題であるように感じる。特に研究者という観点では、イス取りゲーム状態で、優秀でもリスクを避け先に進まない人も多い。制度の多様化が進む中、外枠の多様性は見なくてよいものか？既存の枠では中身のパターンにも限界がある。

働き方改革は企業ばかりでなく、大学、研究機関、学生にも重要。意識改革は繰り返し長期間にわたって推進することが必要。協会にとっても会員の意識改革に一翼を担うことは重要。

会社では制度として働き方改革が意識されはじめている風潮を感じます。一方、大学や公務員(先生)で特に裁量労働の文化が根強く感じます。協会の会員には大学関係者が多いですね。協会としては大学等の労働者、研究者に向けた「働き方改革」を進めていくことは非常に重要な意義があると思います。会社の働き方改革を考える人は最近多いですが労働環境が非常に悪い大学の労働環境について考える人は少ないと思います。学会ならではのことでできるとあってと思いました。プレゼンですが話をもう少し簡潔にできると思います。長いです。ワークライフバランスを実践して成功した企業の話とかどのように意識を変えたかという「具体的」な話をするとうれしいと思います。

協会の年会に参加して少し驚いたのは子供を預けられる(休憩場所でしょうか)があり、実行委員に女性の方がいらっしやることです。理系の大学や技術職には明らかに女性が少ないですが、少しでもそういった環境を目にするとう同性として安心できます。研究に関する思いや意識は男女差異が無いと考えますのでこういった取り組みを続けていただければと思います。

健全な学会ではダイバーシティ活動をしているので日本セラミックス協会は健全な会と考えられる

ワークライフバランスの具体的な取組について抽象的な概念は理解してもでは何をすれば良いか？個人としてできること、組織としてすべきことの根底に「意識改革」があることを改めて考えようと思いました。

専門分野以外の講演を聞けるような催しも時々あるとうれしい。

次世代のモノづくり人材の育成が重要だと思います。少年少女発明クラブの紹介などを年会でしていただけたらと感じました。

まず第一に何を目標にどんな活動をしているあるいはしようとしているのかを明らかにして下さい。委員会でのどのような議論がなされているか。

